



DC事業主のご担当者注目！

企業年金連合会が提供する継続投資教育サービスの活用法

企業年金連合会 会員サービスセンター 政策企画課 確定拠出年金推進室 主事 **根津 真雄** 氏

確定拠出年金法が改正され、継続的な投資教育の実施が努力義務とされてから1年が経過しました。継続投資教育を実施しなければならないということは理解しているけれども、なかなか検討の時間も取れないし、多くの予算を割り当てることもできないといった悩みをお抱えのご担当者も多いことかと思えます。

そのようなときにお勧めできる、企業年金連合会（以下、連合会）の「継続投資教育」について、サービスの概要や活用事例をご紹介します。

基本的な内容が中心の「年代別」と具体的な「テーマ別」のコンテンツを用意

継続投資教育は、確定拠出年金（以下、DC）の加入時の投資教育だけでは基本的な項目を十分理解できていない加入者に対する再教育の機会として、また、DC制度に対する関心が薄い加入者に関心を持ってもらう機会としても極めて重要です。

連合会では、DCの基本について加入者に理解してもらうためのコンテンツとして、「30歳代から40歳代向け」と「50歳代向け」の2つの「年代別」のコンテンツと、具体的なテーマについて基本から説明する「投資信託」と「マネープラン」という「テーマ別」のコンテンツを用意しています。

● 図表1 企業年金連合会の継続投資教育コンテンツの一覧

		コンテンツ
年代別	30～40歳代向け	ライフプランを本格的に検討し始める世代向けにDCの基本を説明します。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 社員のライフプラン ▪ DC制度の仕組み ▪ 資産運用の基本
	50歳代向け	退職後の受け取りのことも視野に入れて、DCの基本を説明します。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 老後にいくらかかるのか ▪ 資産運用の基本 ▪ 年金と退職金の受取方法と税制
テーマ別(注)	投資信託	分散投資をするために必要となる投資信託について説明します。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 資産形成とはどういうことか ▪ 投資信託の仕組み ▪ どのような投資信託を選んだらよいか
	マネープラン	お金とうまく付き合うための知識について説明します。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ なぜお金を貯め、増やさないといけないのか ▪ どうすれば貯められるのか ▪ 社会人として身に着きたい「お金の基本」

(注)テーマ別のセミナーについては、連合会の会議室でのみ実施しています。

「30歳代から40歳代向け」では、会社員がライフプランの中でどういった資金を用意しなければいけないのか、DC制度の仕組みのおさらい、資産運用の基本などを中心に学習いただけます。

「50歳代向け」では、老後資金がどれくらい必要になるのか、資産運用の基本といった内容のほか、給付の受け取り方法についての考え方を学習いただけます。

「投資信託」では、資産形成とはどういうことかという基本的なことから始め、投資信託の仕組み、投資信託の選び方について学習いただき、投資信託を通じた分散投資を実行するための手助けとしていただけます。

「マネープラン」では、お金を増やす必要性、お金を貯める方法、お金の基本について学習いただき、DCを通じた資産形成に取り組むきっかけの一つとしていただけます。

eラーニングと対面セミナーでさまざまなニーズに対応



※写真はイメージです。

連合会では、「eラーニング」と「セミナー」の2つの媒体で継続投資教育を提供していますので、業種や就業形態、継続投資教育の目的に応じて実施しやすい媒体をお選びいただけます。

eラーニングは、専用サイトにログインし、パソコンやスマートフォンを利用して動画を閲覧する形式の媒体です。これによりいつでも、DCに興味を持ったとき、動画を観たいときに学習できる体制を事業主として整えることができます。1本当たり3～5分程度の動画ですので、ちょっとした時間を使って、気になる動画だけでもご覧いただくことができます。

セミナーは、連合会の会議室（東京都港区芝公園）に、複数のDC事業主の加入者の方にお集まりいただき、共同で実施する形式のほか、講師が企業の会議室等を訪問して実施する形式があります。

また、セミナーならではの取り組みとして、資産運用シミュレーションの「ワーク」の時間を設けています。ワークとは、「安定型」「中間型」「積極型」「元本確保型のみ」という複数の資産配分モデルを例に、加入者自身の掛金額と資産残高について、簡単な資産運用シミュレーションを行うものです。分散投資の効果などを実感していただき、分散投資の重要性の「気付き」のきっかけとしていただけます。

eラーニングとセミナーのさまざまな活用方法

eラーニングについては、加入者がいつでも継続投資教育を受けられる環境を整えることができます。社内のWeb掲示板やメーリングリストなどを通じて閲覧方法を周知し、加入者に利用してもらうという方法が一般的なケースとして考えられます。

応用的な活用方法としては、別途、事業主が実施するセミナーの「予習」としてeラーニングを位置付け、eラーニングを事前に関連してもらうことでセミナーの効果を高めようといった目的での利用や、セミナーを受講できなかった加入者、例えば遠方の事業所など受講でき



ない加入者へのフォローに利用するといった方法が考えられます。

セミナーについては、受講希望者を募って参加してもらうという方法が基本となりますが、例えば「元本確保型商品だけで運用している人」「これまで残高通知書を確認したことがない人」といったようにターゲットを絞って受講者を募集することも考えられます。

また、毎年50歳に到達した従業員向けに実施しているライフプランセミナーや、役職別に実施している社内研修のカリキュラムの一つに「継続投資教育セミナー」を組み込み、そこに連合会の講師を派遣させるという方法も考えられます。

さらに、継続投資教育のうち、基本的な内容については連合会のコンテンツを活用して実施し、「マッチング拠出をもっと活用してもらいたい」「投資について応用的な知識を教育したい」といった個別的なテーマについては自社で実施するセミナーで対応するといった「すみ分け」も考えられます。

連合会が実施している実態調査では、継続投資教育の実施率は74.0%に上ります。また、継続投資教育を実施している事業主の加入者ほど、投資信託への配分割合が大きい傾向にあります（いずれも企業年金連合会「確定拠出年金実態調査」）。

連合会の継続投資教育の受講者からも、「行動を起こすきっかけとなった」「もっと早く受講したかった」といった声が寄せられています。連合会の継続投資教育は、基本的な内容の教育を比較的安価で実施できるものとなっていますので、今後、継続投資教育の実施に当たっては、ぜひご検討ください。

● 図表2 企業年金連合会の継続投資教育コンテンツと料金体系

	eラーニング	訪問セミナー	共同セミナー
料金(税込)	年間 10,000円/社	40,000円/回 ※別途、交通費等	3,000円/人
30~40歳代向け	○	○	○
50歳代向け	○	○	○
投資信託	○	—	○
マネープラン	○	—	○

(注)企業年金連合会の会員については、上記金額から2割引きした料金を適用します。

詳しくは、連合会のWebサイトをご覧ください。

企業年金連合会 継続投資教育

検索

DC

記事に関するご意見・ご感想やDCに関するお取り組み等については

dcjoho@np401k.org

までお願いいたします。